



環境社会情報検証報告書

マツダ株式会社 様

1. 検証の対象

一般財団法人日本品質保証機構(以下、「当機構」という。)は、マツダ株式会社が作成した「マツダ株式会社企業サイト サステナビリティ」の「データ集」の「環境データ」と「社会データ」に「✓」のマークを付して掲載され、第三者の独立した機関による検証報告書にて保証された算定報告書に記載された以下に示す検証対象範囲の2022年度(2022年4月1日~2023年3月31日)の環境データ・社会データの各項目(以下、「同社環境社会データ」という。)が、同社により作成された「マツダ株式会社企業サイト掲載手順:第三者検証対象の環境、社会データ」(2023年8月10日)(以下、「同社掲載手順」という。)に準拠し正確に掲載されていることについて、第三者検証を行った。

検証の目的は「マツダ株式会社企業サイト サステナビリティ」の「同社環境社会データ」の掲載情報を客観的に評価し、「マツダ株式会社企業サイト サステナビリティ」の掲載情報の信頼性をより高めることにある。

環境データ

- ・Scope1,2 温室効果ガス排出量(エネルギー起源 CO2 排出量)、エネルギー使用量及び Scope3 温室効果ガス排出量カテゴリ 3
【対象範囲】マツダ株式会社国内製造 4 拠点(広島本社地区、三次事業所、防府工場西浦地区、防府工場中関地区)及び海外製造 5 社(マツダパワートレインマニュファクチャリング(タイランド)Co., Ltd.、オートアライアンス(タイランド)Co., Ltd.、長安マツダエンジン有限公司、長安マツダ汽車有限公司、マツダモートルマヌファクトウリングデメヒコ S.A. de C.V.)
- ・Scope3 温室効果ガス排出量カテゴリ 5、水資源使用量及び廃棄物排出量
【対象範囲】マツダ株式会社の国内製造 4 拠点(広島本社地区、三次事業所、防府工場西浦地区、防府工場中関地区)
- ・Scope3 温室効果ガス排出量カテゴリ 6、7
【対象範囲】マツダ株式会社

社会データ

- ・災害度数率(全災害度数率、休業災害度数率)、単体社員数(男女別及び合計)、平均年齢(男女別及び合計)、平均勤続年数(男女別及び合計)、定年後再雇用者数、女性社員採用人数、女性管理職人数と比率(係長級以上及び幹部級以上)、男性管理職人数(幹部級以上)、管理職平均年齢、障がい者雇用率及び障がい者在籍者数、離職率、新卒採用人数(大卒・短大卒・高卒:男女別)
【対象範囲】マツダ株式会社
- ・連結社員数
【対象範囲】マツダ株式会社及び連結子会社

2. 実施した検証の概要

「当機構」は、温室効果ガス排出量及びエネルギー使用量については「ISO14064-3」、水資源使用量、廃棄物排出量及び社会データについては「ISAE3000」に準拠して検証を実施した。

保証水準は「限定的保証水準」、重要性の量的判断基準はそれぞれの総量の5%とした。

検証手続きは、「当機構」事務所内において、「同社環境社会データ」と「マツダ株式会社企業サイト サステナビリティ」の掲載情報の突合を行った。

3. 検証の結論

検証の対象とした、「マツダ株式会社企業サイト サステナビリティ」の「同社環境社会データ」が、「同社掲載手順」に準拠せず、正確に掲載されていない事項は発見されなかった。

4. 留意事項

「マツダ株式会社企業サイト サステナビリティ」の作成責任はマツダ株式会社にあり、検証の結論に関する責任は「当機構」にある。マツダ株式会社と「当機構」との間には、特定の利害関係はない。

東京都千代田区神田須田町一丁目 25 番地

一般財団法人日本品質保証機構

理事 浅田 純 男

